

○月曜日5時限（17:00～18:30） ○教室 B210

回	日程	授業	内容	担当	備考
第1回	4月12日	全体ガイダンス	ガイダンスとESD論の課題設定	松岡	
第2回	4月19日	講義「里山管理と生物多様性保全」	近年、里山が利用されなくなったために遷移が進行し、生物多様性が低下してきている。里山管理の必要性と生物多様性の保全の意義について論ずる。	武田	
第3回	4月26日	講義「障害共生の観点・ <i>e for all</i> 」	障害の問題がどのようにESDと関わるのかということを示し、実践的な研究の活動から得られる経験や知見について紹介するとともに、今後必要性が増してくると考えられる実践のあり方を考える。	津田	
第4回	5月10日	講義「専門家と非専門家の対話と協働」	サイエンスカフェ、神戸大学サイエンスショップ、科学コミュニケーションに関する兵庫県のネットワーク構築などについて紹介し、専門家と非専門家の対話、連携協働を通じた持続可能な社会づくりについて論じる。	伊藤(真)	
第5回	5月17日	講義「次世代育成と子育て支援」	サテライト施設「あーち」での子育て支援実践を紹介し、セルフ、ピア、コミュニティ・エンパワメントへのプロセスと次世代育成の必要性を検討する。	伊藤(篤)	
第6回	5月24日	ワークショップ「前半を振り返る」	前半4回の講義の振り返りを通じて、ESDを検討する。	末本	
第7回	5月31日	ワークショップ「構えづくり」	コミュニケーションのワークショップとツール・ド・ESDでの準備や振り返りや記録方法についてのガイダンス。フィールドの調整。	高尾	
第8回 ～10回	5月3日、7月 12日、7月19 日	ツールド・ESD	実際のツールド・ESDは各フィールド担当者の提示日程による		
第11回	6月7日	講義「ESDと学校教育・市民性（シティズンシップ）教育」	持続可能な開発・持続可能な社会づくりのための教育を、学校教育の中でまた市民性（シティズンシップ）教育と関連付けてどのように実施していけばよいかについて、理論レベルと実践レベルの両方の面から考察する。	今谷	
第12回	6月14日	講義「持続可能な開発からESDへ」	持続可能な開発SDを巡り様々な議論がされてきましたが、そこから実践的な成果が生まれてきたとはいえません。それを乗り越えるためにESDが提唱されています。その実態と可能性について検討する。	太田	
第13回	6月21日	講義「ホームレス支援から貧困問題を考える」（仮称）	貧困・人権問題・ソーシャルビジネスなど（調整中）	ビッグイシュー 代表 佐野章二	
第14回	6月28日	ワークショップ「振り返り1」	グループディスカッションなどにより、講義やツールド・ESDの振り返りを行う。	高尾	
第15回	7月5日	ワークショップ「振り返り2」	グループ振り返り1をの発表（プレゼン方式）を全員で共有し、多様な観点を理解する。	高尾	